

「ひめじ創生カフェ」で提案された意見における今後の対応について

日時・場所:平成 29 年8月 23 日 ザ・ロイヤルクラシック姫路

1 住みよさ・インフラについて

No.	タイトル	詳細・補足	姫路市の考え方	具体的な取組
1	『若者が自由自在に動ける』まち	<ul style="list-style-type: none"> ・通勤時、電車やバスの待ち時間が少ないなど交通網(道路、地下鉄)が整備されておりストレスがない ・安全に行き来ができるように(帰宅時など)街全体に灯りがある ・(移動面で)仕事意外で無駄な労力を使わない <p>→私たちにできること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域交通マップの作成 ・学生主体で意見を集めて調査実施 	<p>・「公共交通を中心とした姫路市総合交通計画」に基づき、公共交通ネットワークの構築を目指し、パーク&ライド、サイクル&バスライド、バスロケーションシステム、サービス水準を維持するための赤字バス路線への補助など公共交通の維持や利便性の向上、利用環境の改善を進めています。</p> <p>・また、市内の鉄道駅及びバス停の位置マップを転入者を中心に配布しています。今後も引き続き公共交通事業者と協力しながら利便性の向上などに取り組んでいきます。</p> <p>・姫路市では、地域社会における防犯に対する市民の意識向上を図るとともに犯罪の発生を防止し、市民が安全で安心して暮らせるまち姫路を実現することを目的として防犯灯の新設置等に関する補助制度の拡充に向けて地域の実情等も聞きながら取り組んでいきたいと考えています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・パーク&ライドの推進 ・サイクル&バスライド用駐輪場の整備 ・公共交通利用促進パンフレットの製作・配布 ・路線バスの維持 ・自治会が従来の蛍光灯から新たに LED 防犯灯に取替または新設する場合に、LED 防犯灯の設置に係る費用と防犯灯の維持管理に係る費用を補助
2	『交通が便利』なまち	<ul style="list-style-type: none"> ・バス、電車が充実している <p>→私たちにできること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通機関の積極的利用 	<p>・将来に渡って公共交通を維持していくためには、より多くの方々に利用していただくことが重要であり、自動車から公共交通への転換を促す利用促進活動のモビリティ・マネジメントを企業、市民、学校に対して公共交通事業者とともに実施しています。今後も引き続き公共交通事業者と協力しながら利用促進に向け取り組んでいきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生向け公共交通の乗り方教室の実施 ・公共交通利用促進パンフレットの製作・配布
3	『住みやすそう』なまち	<ul style="list-style-type: none"> ・交通の便がよい ・生活しやすい(買い物、病院、金融機関などが充実している) ・ちょうどいい人口(過疎でも都会でもなく都市機能が充実している) <p>→私たちにできること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存の施設をPR (SNSを利用) 	<p>・将来における人口減少、少子高齢化や低密度な市街地形成等の都市構造上の課題を解決することにより、持続可能な都市構造を形成し、経済活力や都市機能の維持につなげるため、居住機能及び都市機能の立地、公共交通の充実等に関する包括的なマスタープランである「姫路市立地適正化計画」を平成 29 年度末を目途に策定中であり、生活利便性の維持や公共交通機能の更なる充実に取り組む予定です。本計画において定める都市機能誘導区域内の一定規模以上の都市機能(商業、医療、金融等)を維持・確保し、公共交通機能や生活利便性の高い拠点の居住機能を維持することで、周辺の都市機能の維持につながり、現在の生活利便性が郊外部においても確保されることが期待できます。</p> <p>・路線バスが走っている地域については、路線バスの維持・利用促進を、公共交通が無い地域や不便な地域については、地域住民と協働でコミュニティバスや乗り合いタクシーの導入検討に引き続き取り組んでいきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・姫路市立地適正化計画に掲げる誘導施策の推進 ・路線バスの維持 ・コミュニティバス等の導入
4	『ストレスフリー』なまち	<ul style="list-style-type: none"> ・神姫バスの本数を増やす・通勤ラッシュの渋滞を緩和する為の道路の工夫・JRの本数を増やす・歩道の並木(樹木のフィトンチッド) 	<p>・交差点への右折専用車線の設置や改良などを通じて、交通渋滞の緩和や交通安全対策を推進しています。</p> <p>・姫路市では、市道 460 路線に、高中木約 28,200 本、低木約 793,000 本の街路樹を植栽しています。フィトンチッドを発する樹木としては、クスノキを約 3500 本植栽しています。・将来に渡って公共交通を維持していくためには、より多くの方々に利用していただくことが重要です。公共交通のサービス水準の維持や向上、利便性の向上、利用環境の改善を図るため、公共交通事業者と協力しながら利便性向上に向け取り組んでいきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生活道路の新設改良事業の推進 ・既存市道の拡幅整備事業の推進 ・交差点改良事業の推進

No.	タイトル	詳細・補足	姫路市の考え方	具体的な取組
5	『都市機能が充実している』まち	・商業施設(アウトレットや、仕事帰りにも寄れるライブハウス・デパートなど)が充実している	<p>商業施設の充実は、まちの魅力づくりのうえで一翼を担うものと思われます。姫路駅周辺整備に伴い、オシャレなショップやカフェできています。アウトレットなどの商業施設の整備は、民間事業者が中心となり行うこととなるため、民間事業者による立地を行政としてできる範囲で支援していきます。</p> <p>・姫路駅北駅前広場を核としたエントランスゾーンにおいて、平成 25 年 4 月に大型商業施設「ピオレ姫路」がオープンし、姫路駅の東側のコアゾーンBブロックにおいては、平成 27 年 7 月に商業施設テラツソ姫路がオープンしました。</p> <p>・現在、コアゾーンAブロックでは、平成 30 年3月のグランドオープンを目指し、都市型ホテル(ホテルモンテレ姫路)の建設工事が進むとともに、コアゾーンCブロックでは、専門学校の建設工事が平成 30 年 4 月の開校を目指して進められています。</p> <p>・また、姫路市では各施設の開業等に合わせて、JR姫路駅ビルとAブロックを結ぶ連絡デッキをはじめ各施設を結ぶ連絡デッキの整備も進めています。</p> <p>・このように、姫路駅周辺に新たに立地した商業施設により、都心部の賑わい創出と来訪者へのおもてなし、まちなか回遊等による中心市街地の活性化を促進していきます。</p>	・コアゾーンの整備

2 地域資源の活用について

No.	タイトル	詳細・補足	姫路市の考え方	具体的な取組
6	『地元の魅力をしっかり発信できる』まち	<ul style="list-style-type: none"> ・姫路には良いものや食品が沢山あるが売するための施設が少ない ・道の駅←野菜売って終わり× <p>(例) ○○産の○○を使ったスムージーなど</p> <p>地産地消をおせる施設があれば農家や販売員の雇用にもつながるおせる部分を姫路はおしきれていない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・姫路駅南側にある「じばさんびる」1階にある播産館では、地場産業振興の観点から姫路だけでなく播磨の地場産品を販売しています。また、姫路の地場産業の1つである皮革産業振興の観点から革工房「BAIMO」の運営支援も行っています。 ・姫路産食材を使用する飲食店の応援冊子「行きたい！食べたい！姫路の店 めちゃうま」で地産地消の飲食店や直売所、体験施設の紹介を継続します。また、スーパー等とも連携し地産地消コーナーの設置について協力を求めています。 ・市内外の消費者へ姫路産水産物の購入方法を広くPRするために、本市の水産物の流通拠点施設でもある「妻鹿漁港フィッシュモール内」では様々なイベントを実施し、更なる魅力を発信できるように努めています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・播産館については今年度第1回目の改修を行い売上が伸びており、来年度に2回目の改修を計画しています。これを契機に、より地元での知名度向上・販売促進を図っていきます。 ・姫路産食材を使用する飲食店の応援冊子「行きたい！食べたい！姫路の店 めちゃうま」(第5版)の配布 ・妻鹿漁港フィッシュモール内での地元産水産物イベントの開催 ・体験漁業イベントの実施
7	『市民が魅力を発信できる』まち	<ul style="list-style-type: none"> ・SNSや市のHPで姫路のいい所・イベント紹介 ・顔出しボードを目の付く所に設置 ・書写山すごいよ！ ・姫路には隠れた魅力が沢山あるはず！はず <p>→私たちにできること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SNSへの投稿にハッシュタグをつける ・SNSの投稿にリツイートする 	<ul style="list-style-type: none"> ・姫路市には歴史・文化・自然といった豊かな地域資源が存在しております。その価値を改めて見直し、地域資源を活用して地域の魅力を高める、または未来に継承することが重要であると考えています。 ・現在、市公式ホームページやSNS等を通じて情報発信を行い、イベントの開催情報などがより多くの方の目に触れるよう取り組んでいるところです。 ・顔出しボードは、フォトスポットとして観光客のSNSへの投稿も期待でき、今後も観光地のおもてなしのひとつとして活用していきます。 ・市としても、市内の魅力的なスポット、イベント等の発信に努めていますので、市民の皆さまも、ぜひハッシュタグや投稿のシェア機能を使っての情報発信にご協力ください。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域夢プラン事業の精神を受け継ぎ、地域資源を活用するために地域資源保存伝承助成事業を実施 ・市ホームページ、SNSを活用した情報発信 ・観光施設での顔出しボードの設置 ・姫路観光コンベンションビューローなどと連携した観光地やイベントの紹介

3 福祉について

No.	タイトル	詳細・補足	姫路市の考え方	具体的な取組
8	自治体と企業が協力的なまち	<ul style="list-style-type: none"> ・産休・育休中の制度の充実 ・保育園・託児所を増やす ・企業に託児所を創るときに市から補助金を出す ・市が制度を充実させれば企業も取り組みやすくなる <p>→私たちにできること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・姫路市の財政が潤うように姫路で沢山買い物をする 	<ul style="list-style-type: none"> ・企業内保育所(企業主導型保育事業)については、子育てと仕事の両立を目的とする国の補助金制度があります。 ・市では、今後も認可施設の整備を進め、待機児童の解消を図っていくとともに、認可外保育施設においても適切な保育が行われるよう、指導・監督を行い利用児童の安全確保と福祉の向上を図っていきます。 ・(補助金については)今後の若者や女性の就労支援施策を検討する際の参考とさせていただきます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育ニーズに応じ、計画的に提供体制を確保していきます。

4 都市イメージ・ブランド

No.	タイトル	詳細・補足	姫路市の考え方	具体的な取組
9	『オシャレ』なまち	<ul style="list-style-type: none"> ・Instagram映えする場所をつくる(姫センナイトプール、カフェ) ・神戸ブランドならぬ、姫路ブランドをつくりあげる ・姫路＝オシャレというイメージ(書写山、白浜をうまくつかう) ・姫路産の野菜・果物を使った古民家カフェ <p>→私たちにできること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・姫路で美味しい、オシャレなお店見つけるとSNSにアップする 	<ul style="list-style-type: none"> ・昨今、「SNS 映え」は新たな付加価値として大きな集客力を持つものとなり、市内の飲食店や民間施設においてもそうした付加価値を狙った取り組みが進んでいるところです。市としても、世間での注目スポットに関する情報収集、活用に努め、都市イメージの磨き上げに繋げていきます。 ・姫路ブランドや姫路のイメージをつくりあげることは、まちの魅力づくりのうえで非常に重要なものであると思われませんが、市だけではなく、住民をはじめ商店街関係者や民間事業者などととも考えて行かなければならないことでありますので、今後も関係者の意見などを伺いながら進めていきます。 ・姫路産食材を使用する飲食店の応援冊子「行きたい！食べたい！姫路の店 めっちゃうま」で地産地消の飲食店の紹介を継続するとともに、地元産食材を使用したおしゃれな古民家カフェなどの発掘に努めていきます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「SNS 映え」する注目スポットの観光地としての発信、活用 ・中心市街地活性化基本計画の推進 ・姫路産食材を使用する飲食店の応援冊子「行きたい！食べたい！姫路の店 めっちゃうま」(第5版)の配布
10	『付加価値がある』まち	<ul style="list-style-type: none"> ・おしゃれ ・大企業が立地している ・バスの24時間営業 ・朝まで遊べる <p>→私たちにできること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SNSの有効活用 ・姫路関係のハッシュタグ「姫のみ」など 	<ul style="list-style-type: none"> ・昨今、「SNS 映え」は新たな付加価値として大きな集客力を持つものとなり、市内の飲食店や民間施設においてもそうした付加価値を狙った取り組みが進んでいるところです。市としても、世間での注目スポットに関する情報収集、活用に努め、都市イメージの磨き上げに繋げていきます。 ・本市では、地域経済が持続的に発展し活性化していくために、地元企業の育成、発展だけではなく、大企業の立地促進にも取り組んでおります。今後も各種の支援制度や企業訪問活動等を通じて、大企業等の立地促進に努めていきます。 ・緑台線、北山口線、県立大工学部線について、毎週金曜日の最終バスの時間を延長しています。 ・バスの24時間営業では、バス業界全体において運転士が不足している現状から、運転士の確保が大きな課題となります。また、運行が継続できるだけの需要の見極めも課題の一つです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「SNS 映え」する注目スポットの観光地としての発信、活用 ・工場立地促進制度(奨励措置・低利融資)の充実 ・工場敷地に対する緑地面積率の緩和 ・工場用地ライブラリー制度の充実 ・未利用地調査による工場用地の発掘 ・アンケート等による企業立地動向等の調査とそれに対応した企業訪問の強化 ・緑台線、北山口線、県立大工学部線について、毎週金曜日の最終バスの時間延長
11	『働きながらリラックスできる憩いの』まち	<ul style="list-style-type: none"> ・自然を感じられる ・仕事場意外にコミュニティを作れる場がある(楽しみの場) ・人の温かさが感じられる <p>→私たちにできること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緑化する ・新店舗出店 	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯現役推進事業の一環として、学習機会を通じた様々な取り組みを推進しており、市立生涯学習大学校では、18歳以上の社会人を対象とした多様な学習講座を開設、また市立好古学園大学校では、60歳以上の高齢者を対象とした多くの学科を開設するなど、全国屈指の学習環境を整えています。 ・両校においては、「学び」を通じた多くの交流(コミュニティ)の輪が生まれており、自己啓発と仲間づくりに貢献しています。 ・さらに卒業後における学習成果の社会還元として、奉仕活動を通じた交流も生まれるなど好循環化しています。 ・引き続き、このような世代を問わない、家庭や仕事場以外での学習機会や交流の場を提供し、生涯現役・生涯学習事業を推進していきます。 ・また、公民館機能を活用して、地域の歴史等を学ぶ講座を実施するほか、地域伝統行事等の活動支援に努めています。 	<p>【生涯学習大学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○修業年限 1～2年 ○対象 18歳以上の社会人 ・郷土史、日本史等の歴史分野から情報処理系、英会話、暮らし、健康、エッセー、播磨の伝承世界など30以上の講座を開設 <p>【好古学園大学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○修業年限 4年(大学院課程2年有り) ○対象 学習意欲の旺盛な60歳以上の方 ・史学、園芸、書道、美術、手芸、音楽、健康づくりなど8学科を開設 <p>【公民館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教養・地域講座等の実施
12	『余暇を楽しめるような』まち	<ul style="list-style-type: none"> ・オシャレな飲食店がある ・治安が良い ・交通の便がよい 	<ul style="list-style-type: none"> ・余暇を楽しんでいただくため、四季折々の催しが市内各地で開催されています。市や姫路観光コンベンションビューローでは、ホームページのイベントカレンダーや広報紙等で催し物の開催情報を発信し、余暇の楽しみを探すツール 	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントカレンダーによる情報提供 ・安全安心パトロールカーの運用 ・姫路市防犯カメラ設置補助事業の拡充

No.	タイトル	詳細・補足	姫路市の考え方	具体的な取組
		<ul style="list-style-type: none"> ・Instagram映えする最新のものが揃っている ・姫路城以外の魅力 →私たちにできること ・SNSで良いところ(あれば)紹介 ・ごみ拾い 	<p>として提供していますので、ぜひご活用ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・治安の維持・向上のために、兵庫県警察・各地域防犯協会・地元防犯ボランティア団体と緊密に連携し、「安全で安心なまちづくり」をより一層推進していきます。 ・姫路駅北にぎわい交流広場を核としたエントランスゾーンにおいて、平成 25 年に「ピオレ姫路」、JR 姫路駅東側のコアゾーン B ブロックには平成 27 年に商業施設「テラッソ姫路」がオープンしました。その影響からか市内の中心部の来訪者が増加傾向にあります。今後も中心市街地活性化基本計画を推進し、さらなるにぎわいの創出と来訪者の回遊性の向上を促進する取組みを進めていきます。 ・また、姫路駅周辺ではキャストィ21 地区計画を策定し、ゾーンごとに用途、色彩、広告物等について、きめ細かくルールづくりをすることで、統一感のあるまちづくりを図っています。 ・さらに、都市計画などによる手法を使い、中心市街地では景観などにも配慮した魅力的なまちづくりに努めていきます。 ・路線バスが走っている地域については路線バスの維持・利用促進を、公共交通が無い地域や不便な地域については地域住民と協働でコミュニティバスや乗り合いタクシーの導入検討に引き続き取り組んでいきます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・姫路魚町・塩町地区安全安心まちづくり協議会による歓楽街対策の推進 ・安全安心まちづくりサポーター事業の推進 ・こども見守り隊事業の推進 ・こども 110 番のくるまの運用 ・中心市街地活性化基本計画の推進 ・路線バスの維持 ・コミュニティバス等の導入
13	『脱昭和』なまち	<ul style="list-style-type: none"> ・事務所→オフィス ・オシャレなカフェ ・アウトレットなどの商業施設(コンサート会場)がある (若い世代の姫路のイメージを変える) ・飾磨の海を綺麗に、ブランド化を図る →私たちにできること ・ごみ拾い 	<ul style="list-style-type: none"> ・商業施設の充実、まちの魅力づくりのうえで一翼を担うものと思われます。姫路駅周辺整備に伴い、オシャレなショップやカフェできています。アウトレットなどの商業施設の整備は、民間事業者が中心となり行うこととなるため、民間事業者による立地を行政としてできる範囲で支援していきます。 ・現在も整備開発が進むキャストィ 21 コアゾーンでは、平成 30 年 3 月の開業に向けて都市型ホテル(ホテルモントレ姫路)の建設が着々と進んでいます。 ・キャストィ 21 イベントゾーンの文化・コンベンションエリアでは、播磨の連携中枢都市にふさわしい交流の拠点施設として、文化、芸術の拠点としての機能と、「ものづくり力の強化」「地域ブランドの育成」「交流人口の増加」を促進する機能をあわせた「(仮称)姫路市文化コンベンションセンター」の建設工事を平成 30 年度に着手する予定です。 ・また、姫路駅南駅前広場も平成 31 年春の完成を目指して再整備を進め、広場の南側にある横断歩道の廃止や雨に濡れず乗り換えできる屋根の設置など、誰もが安全で快適に利用できる駅前広場へと生まれ変わります。 ・このように、にぎわいと活力あふれるまちづくりを支える都市基盤の整備を推進していきます。 ・さらに、現在、県及び市において合同で姫路港ターミナルエリアのリニューアルに向けて計画策定を行っており、将来的に姫路港のイメージの向上が期待されています。 ・また、クルーズ客船の誘致も積極的に行っており、知名度の高い客船等を誘致することにより姫路港のブランド化を図っていきます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地活性化基本計画の推進 ・コアゾーンの整備 ・(仮称)文化コンベンションセンターの整備 ・姫路駅南駅前広場の再整備
14	『遊びにきたい』まち	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事終わりに行けるような施設がある (例: 雰囲気の良い居酒屋) 	<ul style="list-style-type: none"> ・飲食店の出店により、比較的営業時間を延長している店舗も増加していますが、さらなる来街者の増加や顧客のニーズがあれば、営業時間の延長な 	<ul style="list-style-type: none"> ・商店街支援メニューの活用促進 ・まちなかの課題解決に向けた勉強会の開催

No.	タイトル	詳細・補足	姫路市の考え方	具体的な取組
		<p>→私たちにできること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SNSによる発信 	<p>どを検討する店舗も増加するものと思われます。そのため、さらなるまちなかの魅力を高め、観光客や市民に足を運んでもらえるような施策を推進していきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本市では、ナイト観光を新たな取り組みとして進めており、夜間イベントは仕事終わりにも立ち寄っていただけるものとなっております。働く世代が楽しめるイベントを、引き続き模索していきます。 ・また、播磨の日本酒を取り扱う飲食店をPRする取り組みを予定しており、仕事終わりに立ち寄っていただけるような店舗の紹介をしていきます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・まちなかの課題解決に向けた支援制度の推進 ・夜間イベントの開催
15	『業界の中心がある』まち	<ul style="list-style-type: none"> ・TV局や企業の本社が姫路にあると人が集まりやすい ・芸術関係の仕事をする機会・場所をつくる(ドーム・スタジオ) ・「姫路は田舎」というイメージを捨てる 	<ul style="list-style-type: none"> ・本市の優位性を高め、厳しい都市間競争を勝ち抜くために、平成28年度から本社機能等を有した製造工場に対する支援制度を実施しております。今後も、支援制度の充実や企業訪問活動等を通じて本社機能誘致の推進に取り組んでいきます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本社機能と研究所を併設した主力製造工場(マザー工場)に対する工場立地促進制度の充実(通常の奨励措置に上乗せして支援) ・工場敷地に対する緑地面積率の緩和 ・工場用地ライブラリー制度の充実 ・未利用地調査による工場用地の発掘 ・アンケート等による企業立地動向等の調査とそれに対応した企業訪問の強化
16	『おしゃれ』なまち	<ul style="list-style-type: none"> ・姫路城以外の新しいコンセプトを展開するショップを商業施設で定期的にオープン 	<ul style="list-style-type: none"> ・書写山園教寺を中心とする「巡礼の道」、日本遺産にも認定された「銀の馬車道」、播磨灘に浮かぶ家島諸島など、ノスタルジックな風景も姫路の魅力のひとつです。これらの歴史文化を活用したPRも推進していきます。 ・姫路駅北にぎわい交流広場を核としたエントランスゾーンにおいて、平成25年に「ピオレ姫路」、JR姫路駅東側のコアゾーンBブロックには平成27年に商業施設「テラッソ姫路」がオープンしました。その影響からか市内の中心部の来訪者が増加傾向にあります。今後も中心市街地活性化基本計画を推進し、さらなるにぎわいの創出と来訪者の回遊性の向上を促進する取組みを進めていきます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コアゾーンの整備
17	『自分達の街で外国の文化と関われるような』まち	<ul style="list-style-type: none"> ・自分達の町を派手にアピールする 例: 大名行列……地域の学生などのボランティア協力、体験型もあり ・働きやすい町＝子育てしやすい町 保育園・幼稚園のうちから異文化(ネイティブの外国人教師)とふれあい異文化理解を推進する(外国語を「勉強」という捉え方ではなく「第二の言語」、コミュニケーション手段として捉える) <p>→私たちにできること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・異文化理解 ・ごみ掃除(大名行列) 	<ul style="list-style-type: none"> ・異なる文化や価値観を理解・尊重するところを育むために、学校教育・社会教育において、相互の連携を図りながら、国際理解教育をすすめており、今後も継続してとりくんでまいりたいと考えていきます。 ・姫路市の幼児教育では、まず母国語や日本の文化を体験を通して学び、アイデンティティーの基盤を育むことを大切にしています。その上で、海外の人々と触れ合う機会も大切にしています。 ・小・中学校の教育では、外国語指導助手(ALT)を派遣し、海外の人々と日常生活の中で触れ合ったりコミュニケーションをとったりする機会を設けています。 ・各保育所、幼保連携型認定こども園では、それぞれ保育所保育指針や幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づき、また、ひめじ保幼小連携教育カリキュラムも踏まえ、就学前の子どもに対する教育・保育の充実を図っていきます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国際理解講演会 ・国際交流フェスティバル ・スプリングフェスティバル ・国際交流ふれあい教室 ・国際理解出前講座 ・地域交流事業 ・特色ある教育活動支援事業 ・小学校外国語活動支援事業 ・異文化に触れる活動 ・国際交流センター「国際交流員(CIR)保育所・幼稚園訪問事業」の活用 ・チャンゴ(韓国の楽器)演奏会
18	『働いただけじゃない』まち	<ul style="list-style-type: none"> ☆お城だけじゃない ・イベントやセミナーの実施 ・サークル状に町を形成する 	<ul style="list-style-type: none"> ・余暇を楽しんでいただくため、四季折々の催しが市内各地で開催されています。市や姫路観光コンベンションビューローでは、ホームページのイベントカレンダーや広報紙等で催し物の開催情報を発信し、余暇の楽しみを探すツール 	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントカレンダーによる情報提供 ・商店街支援メニューの活用促進 ・まちなかの課題解決に向けた勉強会の開催

No.	タイトル	詳細・補足	姫路市の考え方	具体的な取組
		<p>☆ゆっくりできる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安価でゆっくりできるスペース(机・椅子・空調)交流できる <p>☆早く眠らないまち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・終電・終バス・お店の閉店時間 <p>→私たちにできること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デザインの考案 	<p>として提供していますので、ぜひご利用ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地への飲食店の出店により、比較的営業時間を延長している店舗も増加しておりますが、さらなる来街者の増加や顧客のニーズがあれば、営業時間の延長などを検討する店舗も増加するものと思われます。そのため、さらなるまちなかの魅力を高め、観光客や市民に足を運んでもらえるような施策を推進します。 ・路線バスは、緑台線、北山口線、県立大工学部線について、毎週金曜日の最終バスの時間を延長しています。利用者のニーズに合わせたサービスを実現できるよう、公共交通事業者と協力しながら利便性向上に向け取り組んでいきます。 ・「城を望み、時を感じ人が交流するおもてなし広場」として誕生した「姫路駅北にぎわい交流広場」は、市民の皆さまにくつろぎとにぎわいの空間を提供し、市民相互の交流及び中心市街地の活性化に寄与することを目的としています。まちの活性化とにぎわいの創出のため、広場の一部は申込みによりイベント等(市民活動の発表、情報発信、その他様々な催し)で使用していただくことができます。 ・姫路駅北にぎわい交流広場は、イベント活用空間として市民の皆さまに定着してまいりました。現在では、さまざまなイベントが実施されています。 ・また、姫路駅北駅前広場内にある水と緑にあるれるキャッスルガーデンや大手前通りを挟んで姫路城と正対するキャッスルビューでは、駅周辺の景色とともにゆったりと市民相互の交流ができるスペースが設けられています。 ・市民の皆さまの憩いと交流の場として、都心部の賑わい創出を促進していきます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・まちなかの課題解決に向けた支援制度の推進 ・緑台線、北山口線、県立大工学部線について、毎週金曜日の最終バスの時間延長 ・姫路駅北駅前広場の管理
19	『やりたい事が実現できる』まち	<ul style="list-style-type: none"> ・やきとり屋、カフェなどのチャレンジショップ(起業支援) ・カラオケ×ワーキングスペース ・公園(筋トレ) <p>→私たちにできること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お客さんとして出向く 	<ul style="list-style-type: none"> ・「自分のお店を持ちたい」といった夢を少しでもサポートできるよう、商店街等で空き店舗を活用して新たに店舗を開店する場合に賃料内装費の一部を支援しています。 ・すべての公園ではありませんが、一部の公園には腹筋ベンチやぶら下がり器具等の健康遊具を設置しています。また、園路やトラック、グラウンド等を整備している公園もありますので、ぜひご利用ください。 	<ul style="list-style-type: none"> ・商店街空き店舗対策事業 ・まちなか・商店街創業支援事業
20	『仕事がおわったらワクワクし出す』まち	<ul style="list-style-type: none"> ・飲み屋が充実している ・終電の時間が遅い ・タクシー・バスが安い ・娯楽施設を増やす ・安い宿泊施設 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や観光客のニーズによって、民間事業者が提供するサービスの内容は変化していくものと考えます。民間事業者が充実したサービスを提供できるよう、滞在型観光を推進するなど、観光都市としての経済の活性化を念頭に施策展開していきます。 ・中心市街地への飲食店の出店により、比較的営業時間を延長している店舗も増加しておりますが、さらなる来街者の増加や顧客のニーズがあれば、営業時間の延長などを検討する店舗も増加するものと思われます。そのため、さらなるまちなかの魅力を高め、観光客や市民に足を運んでもらえるような施策を推進します。 ・路線バスは、人口減少に伴い利用者が減少傾向にあり、バス事業者の企業努力だけでは路線の維持が困難な状況にあり、国、県と協調し赤字路線へ支援することにより、現行の料金体系やサービス水準が維持されています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・商店街支援メニューの活用促進 ・まちなかの課題解決に向けた勉強会の開催 ・まちなかの課題解決に向けた支援制度の推進 ・コアゾーンの整備 ・(仮称)文化コンベンションセンターの整備

No.	タイトル	詳細・補足	姫路市の考え方	具体的な取組
			<p>・姫路市では、播磨の中核都市・姫路の玄関口としての「エントランスゾーン」や高次都市機能の集積を目指す「コアゾーン」などの整備を進めてきました。</p> <p>・エントランスゾーンでは、水と緑にあるれるキャッスルガーデンや、大手前通りを挟んで姫路城と正対するキャッスルビューを含めた北駅前広場を整備しました。</p> <p>・コアゾーンでは、平成 27 年 7 月にオープンしたテラッソ姫路や、平成 30 春に開業予定のホテルモンテレ姫路など、官民の協調のもとに整備を行ってきました。</p> <p>・また、キャスティ 21 イベントゾーンの文化・コンベンションエリアでは、播磨の連携中枢都市にふさわしい交流の拠点施設として、文化、芸術の拠点としての機能と、「ものづくり力の強化」「地域ブランドの育成」「交流人口の増加」を促進する機能をあわせた「(仮称)姫路市文化コンベンションセンター」の整備を平成 33 年春の完成を目指して進めています。</p> <p>・このように、高度な都市機能を導入して播磨地域の中核都市にふさわしい魅力と活力にあるれる都心の形成に向けて推進していきます。</p>	